



スマートフォン電話アプリ

画面デザイン

東北芸術工科大学

デザイン工学部 プロダクトデザイン学科 3年

期間：2015年9月3日～9月4日

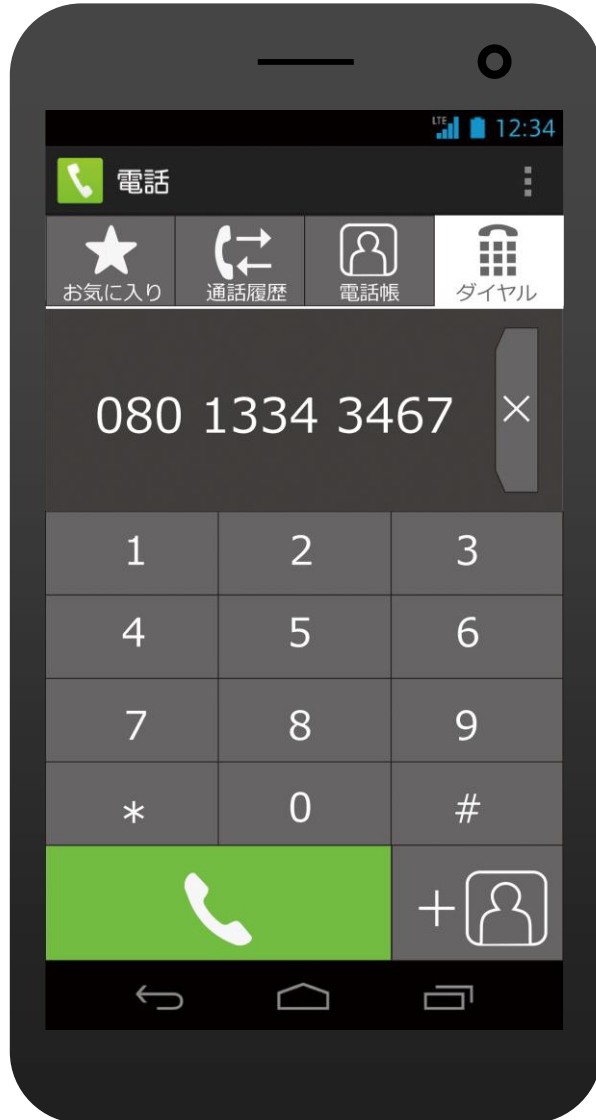
一般ユーザーに向けたダイアル画面

現在一般ユーザーにとって、スマートフォンは広く浸透しており、扱い慣れた物となっている。そのような一般ユーザーに向けて新しいダイアル画面をデザインする上で、分かりやすさはもちろん、自由度の高いデザインを意識して、従来よりのダイアル画面よりも利便性の高いUIを目指した。

シニアユーザーに向けたダイアル画面

シニアユーザーにとって、ストレスなく、スムーズに操作することができ、視認性や、分かりやすさを重要視して突き詰めていった。ダイアル画面で電話をかけるという目的達成までサポートできるUIデザインを目指した。

ダイヤル画面(一般ユーザー向け)



見やすく、飽きのこないカラーリング

固定タブ、インジゲータ、文字盤などは表示内容を見やすくするために、ホワイトとグレーで分け、全体的にはっきり見えるように考えた。

機能を理解

アイコンを文字と比べて大きくし、一目で機能を理解できるようにした。使用中タブは他タブの色と反転させ、使用中の固定タブと使用していないタブを分かりやすく表現した。

ダイヤル画面(一般ユーザー向け)



右端から削除する場合



文字の間から削除する場合

ドラッグできる削除キー

大きな特徴として、削除キーの役割を追加した。タップで1文字消し、ロングタップで全消去の基本機能に加え、ドラッグすることによって、消したい文字をスムーズに消去できる。

ダイヤル画面(一般ユーザー向け)



ダイヤル画面からの候補選択

利便性を高めるために特定の番号
入力で電話番号の候補がインジゲ
ータ画面に表示するようにした。
またインジゲータ内に表示を収め
ることで、他の機能キーの邪魔に
ならない。

インジゲータで表示された画面
の右端に他の候補数を表示し、タ
ップすることで、他の候補を見る
ことができる。

ダイヤル画面(シニアユーザー向け)



立体感を出し、操作を促す

入力キーに立体表現を取り入れ入力できる、操作できる範囲を分かりやすくできるようにした。立体の明暗の差で文字が見えにくくなるのを避けるためにキーの両端のみが浮き出るようなボタン表現にした。

機能キーの差別化

通話や削除キー、電話帳への登録キーはダイヤルキーと比べて機能が全く異なるため、見分けが付きやすいように、キーの大小の変化だけではなく、縦長にすることで、他のキーとの差別化できるようにした。